

退職自衛官の雇用に関するご質問等は、以下のところへお問い合わせください。

防 衛 省

自衛隊地方協力本部（援護課）

〒162-8801 新宿区市谷本村町 5-1 TEL.03-3268-3111 代表

■人事教育局	人材育成課	援護企画室	内線	20690~20691
■陸上幕僚監部	人事教育部	募集・援護課	内線	40314
■海上幕僚監部	人事教育部	援護業務課	内線	51292~51294
■航空幕僚監部	人事教育部	援護業務課	内線	60325~60326

陸 上 自 衛 隊

■北部方面総監部	援護業務課	〒064-8510 札幌市中央区南26条西10丁目 TEL.011-511-7116 内線2420
■東北方面総監部	援護業務課	〒983-8580 仙台市宮城野区南目館1-1 TEL.022-231-1111 内線2268
■東部方面総監部	援護業務課	〒178-8501 練馬区大泉学園町 TEL.048-460-1711 内線2582
■中部方面総監部	援護業務課	〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘7-1-1 TEL.072-782-0001 内線2331
■西部方面総監部	援護業務課	〒862-8710 熊本市東区東町1-1-1 TEL.096-368-5111 内線2321

(一財) 自衛隊援護協会

■本 部 〒162-0808 新宿区天神町6 村松ビル5階 TEL.03-5227-5400
【退職自衛官無料職業紹介所—厚生労働大臣認可—】

■札幌支部	〒060-0002 札幌市中央区北2条西3-1 TEL.011-222-4888
■仙台支部	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-3-9 TEL.022-227-2610
■東京支部	〒160-0808 新宿区天神町6 村松ビル4階 TEL.03-5227-5527
■名古屋支部	〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-23-13 TEL.052-541-0334
■大阪支部	〒540-0026 大阪市中央区天満橋京町2-13 TEL.06-6946-7638
■広島支部	〒730-0014 広島市中区上幟町2-43 TEL.082-223-6900
■福岡支部	〒812-0027 福岡市博多区下川端町1-3 TEL.092-271-2462

任期制隊員再就職支援一部民間委託企業

■マンパワーグループ株式会社

ライトマネジメント事業本部 自衛官就職支援室

〒101-0065 千代田区西神田3-2-1 千代田ファーストビル南館
TEL.050-3163-5127

求人に関するご相談は、こちらまで。

【詐欺まがいの振り込み依頼へのご注意】

退職自衛官の再就職を斡旋すると称し、登録料という名目で振り込みを依頼する詐欺まがいの電話や、インターネットサイト等への自衛隊向け有料求人広告の勧誘があるとの連絡が寄せられる場合がございます。退職自衛官に係る職業紹介事業は、一般財団法人自衛隊援護協会が厚生労働大臣と国土交通大臣の許可を得て、**無料**で行っております。また、1都3県(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)及び愛知県における、任期制退職予定自衛官を対象とする職業紹介事業は、民間の有料職業紹介事業者(事業者については下記のホームページをご確認ください。)に業務委託しておりますが、同事業者が求人企業様から**紹介手数料等を求めることはありません**。ご不明な点は、下記までお問い合わせください。



◆この手引きに関する問い合わせ
〒162-8802 東京都新宿区市谷本村町 5-1
防衛省陸上幕僚監部人事教育部募集・援護課
TEL. 03-3268-3111 (内線40314)

平成30年3月版

●陸上自衛隊ホームページ

「退職自衛官雇用ガイド」
<http://www.mod.go.jp/gsd/retire/>

検索はこちらから

退職自衛官

検索

このほか、お近くの自衛隊地方協力本部にもホームページを開設しておりますので、ご案内できます。

添付資料 2

退職自衛官 雇用のご案内

国防を支えた力を、地域・企業を支える力に



防衛省 陸上自衛隊

国防を支えた力を、地

域・企業を支える力に

陸上自衛隊の再就職

自衛隊を退職する陸上自衛官が年間約6,300名います。

自衛隊では、その精強性を維持するため、自衛官の大半が若年定年制で53～56歳に、また、任期制においては、その多くが20歳代で退職します。

厳しい訓練や行動の中で培った強い責任感、階級に応じた指導力と実行力、更に職務に応じて身に付けた高い技術は、退職後も様々な分野で活用でき、地域・企業においても必ずお役に立ちます。



(部隊で勤務する隊員)



(企業で勤務する元隊員)

3

「退職自衛官」雇用の3つのメリット

- ・ 教育訓練を通じて培った能力
- ・ 在隊間に各種の資格免許を取得
- ・ 注目される「防災・危機管理の能力」

3

「退職自衛官」雇用の3つのポイント

- ・ 階級に応じた経験と能力の違い
- ・ 若年定年制、任期制による早期退職
- ・ 退職自衛官雇用に伴う職業紹介のながれ

3

「退職自衛官」雇用の3つのステップ

- ・ 求人取次依頼
- ・ 求人申し込み
- ・ 求職者の紹介

「退職自衛官」採用の3つのメリット

① 教育訓練を通じて培った能力

段階的かつ体系的な教育訓練により向上



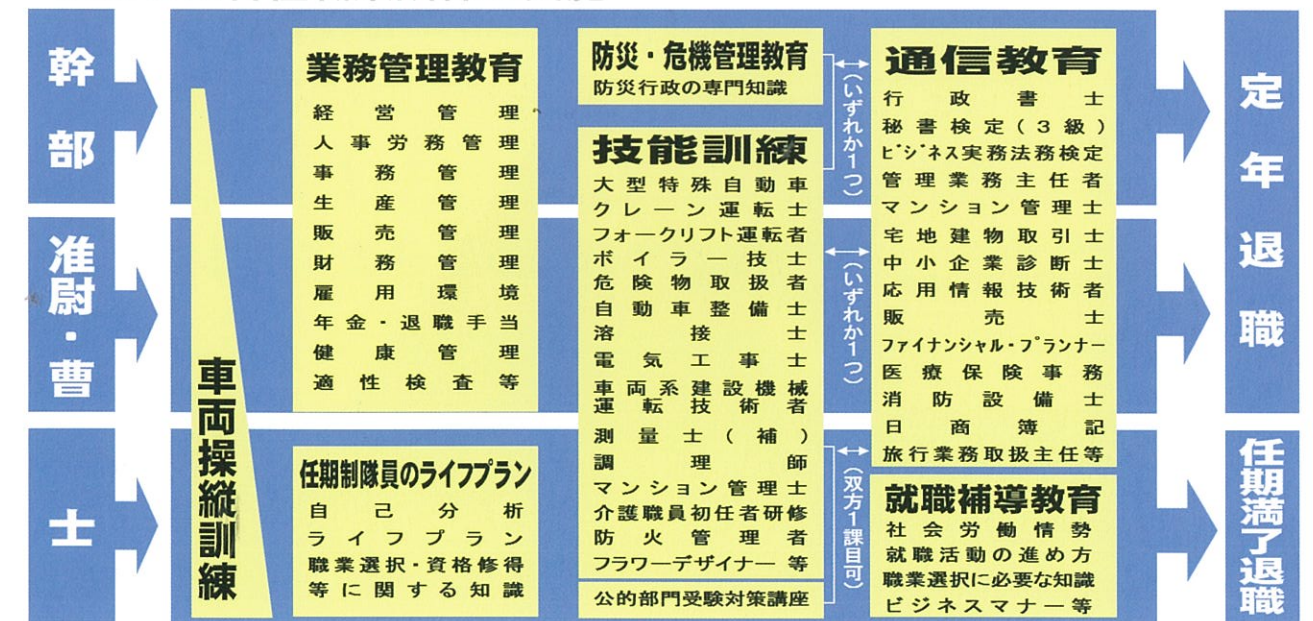
② 在隊間に各種の資格免許を取得

技能訓練、通信教育を通じ必要な資格を習得

事業用操縦手	ボイラー技士	火薬類保安責任者
小型船舶操縦士	ボイラー整備士	危険物取扱者
無線通信士	建設機械運転技能者	衛生管理者
無線技術士	フォークリフト運転者	ビル管理技術者
特殊無線技士	クレーン運転士	行政書士
自動車運転者	ガス溶接技術者	社会保険労務士
自動車整備士	玉掛技能者	簿記
電気主任技術者	土木施工管理技士	実用英語
電気工事士	建設機械整備	薬剤師



- 退職後必要となる技能について、在職間、退職予定者の希望等に応じた各種職業訓練を実施



■ 「退職自衛官」 採用の3つのメリット

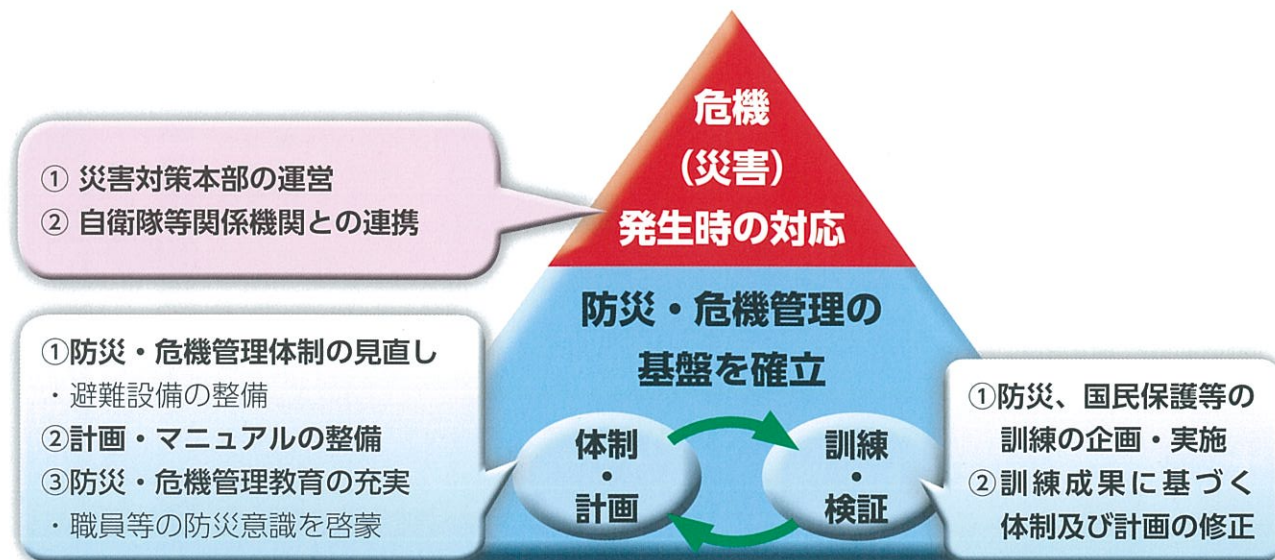
③ 注目される「防災・危機管理の能力」

長年の勤務で培った知識・技能を防災に

- ・ 地方公共団体、企業の防災・危機管理分野における即戦力
- ・ 防災訓練の実施や防災計画の作成・見直し
- ・ 地方公共団体や企業における採用は年々増加



防災・危機管理分野で活躍する退職自衛官の役割（一例）



■ 「退職自衛官」 採用の3つのポイント

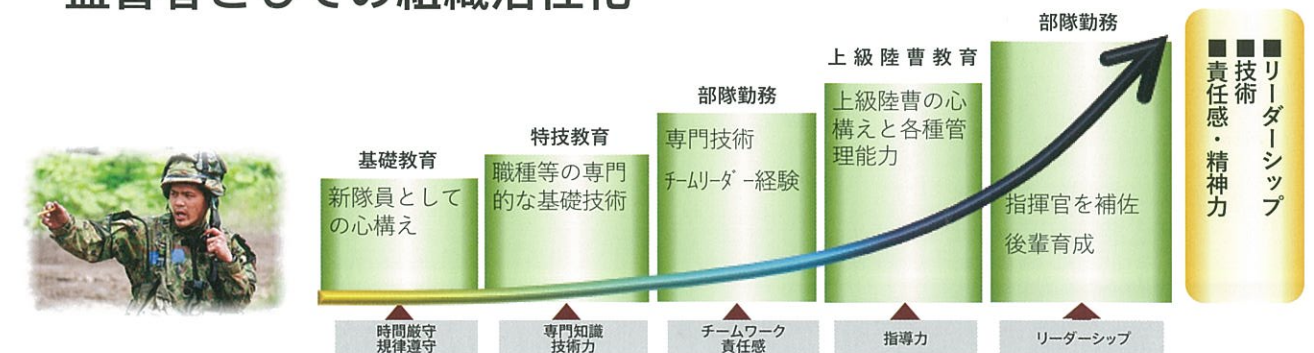
② 在隊間に各種の資格免許を取得

自衛官としてのスキルを身に着ける筋道

・ 幹部 管理者としてのマネジメント



・ 准陸尉・陸曹 監督者としての組織活性化



・ 陸士 実務者としてあらゆる困難を克服



■ 「退職自衛官」 採用の3つのポイント

② 若年定年制、任期制による早期退職

精強性を維持する必要から一般企業より早い退職

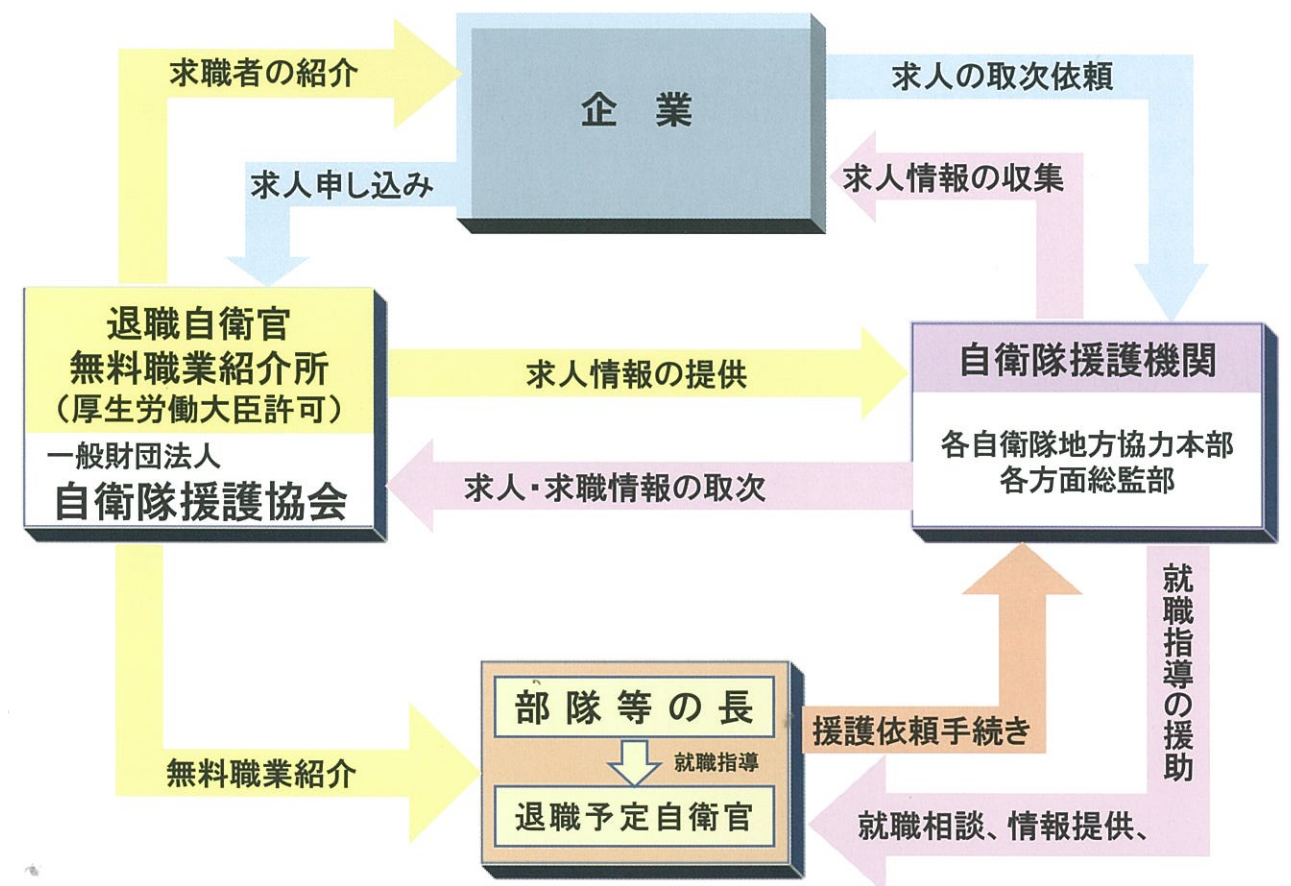
- ・ 自衛官の大半が若年定年制で50歳代半ばで退職
- ・ 任期制では主に20歳代で退職

制度	階 級	定年退職 年齢	退職時期	退職自衛官		
若年 定年 制	幹 部	1 佐	56歳	 幹部  (准・曹)		
		2 佐	55歳			
		3 佐				
	准 尉	1 尉	54歳		生年月日 の日	
		2 尉				
		3 尉				
	陸 曹	准尉				53歳
		曹長				
		1 曹				
		2 曹				
任 期 制	陸 士	20歳代	主に3月	 (陸士)		
					3 曹	

③ 退職自衛官雇用に伴う職業紹介の流れ

退職自衛官の職業紹介事業は無料で実施

- ・ 隊員に対する職業紹介は、厚生労働大臣から無料職業紹介の許可を受けた自衛隊援護協会等（注1）が実施
- ・ 自衛隊援護機関は、自衛隊援護協会に対し、求人情報及び退職予定隊員の情報の取次ぎ等を行い、職業紹介（注2）に対する協力を実施



（注1）首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）及び愛知県に再就職を希望する任期制自衛官については、民間委託会社（マンパワーグループ株式会社）が職業紹介を実施（"港湾運送業務""建設業務"に就く職業については自衛隊援護協会が実施）

（注2）職業紹介とは、職業安定法に基づき、求人及び求職の申込みを受け、求人者と求職者との間における雇用関係の成立を斡旋することで、退職自衛官を対象とする職業紹介の法的権限（職業安定法33条）は、自衛隊援護協会及び民間委託会社が保有

■ 「退職自衛官」採用の3つのステップ

① 求人取次依頼

自衛官雇用の問合せは自衛隊地方協力本部へ

- ・ 自衛官の雇用については、興味がある企業採用担当者は近隣の自衛隊地方協力本部にお問い合わせ
- ・ 都道府県単位の自衛隊地方協力本部にて企業のご要望に対応
- ・ 退職自衛官雇用に関する制度や手続きについて、自衛隊担当者が説明

② 求人申し込み

求人申し込みする場合は、求人票を提出

- ・ 自衛官の雇用を希望される企業は、求人票を記入していただき、自衛隊地方協力本部または退職自衛官無料職業紹介所（財団法人 自衛隊援護協会各支部）に提出
- ・ 求人票については、各自衛隊地方協力本部または、自衛隊援護協会各支部にお問い合わせ

③ 求職者の紹介

退職自衛官のご紹介は、自衛隊援護協会から

- ・ 求職者（退職自衛官）に関する再就職の斡旋は自衛隊援護協会が実施
- ・ 求職者（退職自衛官）ご紹介については、自衛隊援護協会または、自衛隊地方協力本部にお問い合わせ



(合同企業説明会で企業から説明を受ける隊員)



(援護担当者と隊員との面談)

雇用者からの声



北海道道路保全(株)
業務部長 小野 秀裕氏

当社は市道・道道の維持管理・舗装工事・下水道の維持管理・農協からの農作業受託等の他、冬期間は道道及び市道の除雪作業を行う等、多種多様な業務を主として運営しています。

退職自衛官の合同企業説明会には平成21年に初めて参加させて頂き、翌22年に3名の退職自衛官を採用させて頂きました。

その後も説明会への参加を続け、8名の退職自衛官を採用し現在に至っています。

当社の業務を遂行する上で、色々な資格及び免許等が必要となりますが、各自がそれぞれのスキルアップを目指して積極的に取得に努め重要な戦力として会社の発展に寄与してくれています。

私も31年前に自衛隊を退職した一人です。わずか5年ほどの在籍期間ではありましたが、その間で得た知識・経験そして隊舎内における共同生活での人との繋がり等、現在の仕事及び生活に大いに役立っていると思っています。

先に述べたように当社では多種多様な業務があります。自分に合った仕事を見つけ、情熱を持って働いて頂ける若い力を全力でバックアップしますので皆様の入社を心よりお待ちしております。

元自衛官の声



元陸士長 森田 恭祐氏

私は5年前に入社し、下水道の清掃・調査・補修等の業務、特殊なTVカメラの操作を担当しています。現場作業と報告書の作成等、責任重大な業務となりますが、自衛官時代の経験を生かして邁進します。

また、今後の業務の多様化に対処できるよう、スキルアップを図っていきます。

陸上自衛隊の経験を企業が評価

- ・ 雇用企業の99.1%が自衛官を採用してよかったと回答
- ・ 自衛隊経験で身に付けた驍が、ヒューマンスキルとして高く評価され、再就職先の組織の活性化に貢献

よかった理由の回答率
(複数回答可)

① 勤務態度が勤勉(真面目)	46%
② 責任感が強い	45%
③ 規律性があり組織に馴染む	29%

(平成29年11月全国220社対象)